

穏やかで豊かな若狭の海をとことん楽しむ!!

[若狭湾編]

マリントピアマリーナ

あまのほしだて
名勝「天橋立」にほど近い宮津湾に位置するマリントピアマリーナ。
リゾート施設に密接にリンクしており、様々なソフト面のサービスが充実、
マリンレジャーを軸にした本格リゾートを満喫できるマリーナである。



陸置ヤードはかなり広大なスペースが確保されており、合計139隻ものボートが置けるようになっている。



独自の会員制レンタルボートシステム「マリンクラブ」のクラブ艇。用途に応じて約20艇を完備するのはさすが!!



ボートの揚陸はスロープ式の棧橋から行なう。消波設備がないのは、それだけ海が静かで穏やかな証である。



エンジン整備や修理、船体修理などを行なうサービスヤードを完備。経験豊富なスタッフが万全のバックアップを行なう。



給油設備は軽油とハイオクガソリン、2種類の油種を完備している。



マリーナ考案の「マリンホースアンカー」(価格28,350円)。根掛かりしても安全ピンが折れることで回収を容易にしている。



マリンショップ内にはカウンター設備や各種マリンアイテムを販売するショップコーナーなどが隣接している。



マリーナの様々な業務を管理・担当するマリンショップ。マリントピア天橋立2号館の1階に位置する。

海遊びを軸にした本格リゾートを満喫できる ソフト面の充実度・満足度の高さはピカイチ!

若狭湾の中でも南西部に位置し、日本三景にもなっている名勝「天橋立」を有する宮津湾。そこのほぼ中央部に位置するのがマリントピアマリーナである。

周囲には関西圏のユーザーをターゲットにした別荘やリゾートマンションが立ち並び、またのんびりとした土地柄なども相まって、一大マリンリゾートの雰囲気をかもし出しているのが特徴的だ。だが、それもそのはず。マリーナの経営母体は、そのリゾート開発をメインに行なっているマリントピアリゾートであり、そのような環境をバックボーンにしている。

マリーナ自体のオープンは1990年。もともとはリゾートマンションのオープンが先(1989年)であり、リゾートマンションオーナーのためのマリンレジャーをサポートするのが主な目的であった。が、現在ではマンションオーナーのみならず、ボート保管

のみのオーナーも広く受け付けており、マリーナ自体も事業として幅広く展開しているのだ。

マリントピアマリーナは、周辺に10棟展開しているマリントピア天橋立の2号館に位置し、その1階にあるマリンショップがセンターハウスとして営業を行なっている。その周囲にある約5,000平方mの駐艇場には、約150艇収容できる陸置ヤードが広がっている。予約なしで出航要請があっても、約5分でボートを下ろせる機動力があり、思い立ったらすぐにも海に行けるのが大きなアドバンテージとなっている。

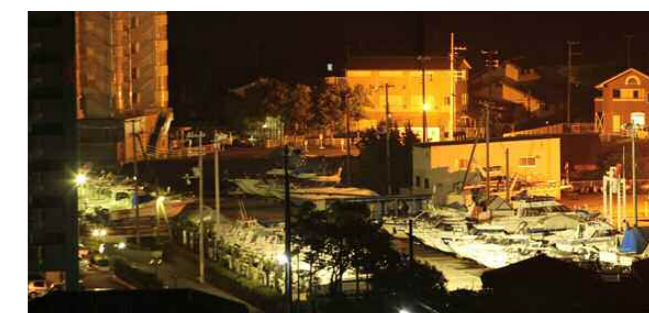
マリーナを利用するオーナーの多くがボートフィッシング目当てということもあり、実際に出航・釣行に出たオーナーの釣果を「最新釣り情報」として同マリーナのホームページに逐次アップしており、これがかなり好評を得ている。中には細かくチェック

をし、頻繁に出航するオーナーも少なくはないのだとか……。

それ以外にも同マリーナが力を入れているのが、ボートを所有せずに本格的なマリンレジャーを満喫できる「マリンクラブ」の存在。全国展開するヤマハSea Styleも加盟しているが、マリーナ独自のマリンクラブは用途に応じて多種多様なボート(約20艇)を使用でき、釣りはもちろん、ウェイクボード・水上スキーなどのマリンスポーツ、そして国内でも珍しい専用艇を用いてのパラセーリングなどを楽しめる。もちろん、クルージングなどもクルー付きの専用艇などで万全のサポートを行なってくれるのだ。

もちろん、オーナー艇であっても、マリーナスタッフが乗り込んでの各種ガイドやサポートなどは日常行なっているサービス内容だ。ソフト面の充実度はかなり高い。リゾートのサポート

から出発しただけあり、マリンレジャーを含めての本格リゾートを満喫できることウケアイなのが、マリントピアマリーナの大きな魅力であることは間違いない。





淵上 勲さん
神戸市在住で、貿易会社を営む。ボート歴は20年以上のベテランで、現在は11艇目となるトヨタボート28(2005年式)を所有。艇名の「ISLAND XI」は、ご自身の故郷が徳之島出身であることから名づけられている。

波あたりがソフトなボート28を駆って、釣りやクルージングを楽しんでいるという淵上さん。マリントピアマリーナを利用するようになったのは、リゾートマンションを所有してからとのこと。やはり、拠点がすぐ近くにあり、もともとボートライフも楽しんでいたこともあり、平均出航回数は年間40回にも上るといいます。それ以前は瀬戸内方面に艇を預けていたが、日本海のほうが波が穏やかで、釣りやクルージングしやすいところがお気に入りのポイントだとか。また、マリーナのすぐ前のマンションを拠点としているため、「部屋から愛艇が見える」環境にあり、まさに海を抱くオーシャンフロントの拠点というのも、足を運ぶ回数

多さにつながっているのであろう。また、マリーナの印象を伺うと、施設がクリーンで管理が行き届いている。それに、スタッフが穏やかないい人ばかりなのも非常に居心地が良いとのこと。安心して愛艇を預け、休みの日は釣りやクルージングを満喫している淵上さんの満足度は、その笑顔が物語っている。ボート歴20年以上のベテランシーマンで、今までいろんなところに行ったが、ここが一番リラックスできる場所だという。利用するオーナー同士の交流も深く、釣行帰りの夕方は、獲物の品評会をも楽しんでいる淵上さん。今後も同マリーナのサポートのもと、リラックスしたマリンライフを楽しむことだろう。



佐坂昭治・憲美さん
兵庫県在住で、機械加工関連の会社を営む。マリントピアリゾートのマンションオーナーでもあるが、釣りをしたいがために購入したという。マリンクラブの会員を経て、最初の愛艇であるSanta Go(日産サンキャット)を所有。ご夫婦ともにボートライフを楽しむ。

マリントピアマリーナを利用し始めて13年の佐坂さんご夫妻。もともと釣りがしたくてリゾートマンションのオーナーとなり、同時にマリンクラブの存在を知り、免許を取得して入会。頻りにクラブ艇を利用する熱心ぶりに自艇の購入を勧められ、7年前に現在の愛艇を購入するに至る。利用目的は100%釣りとのこと。その時の「旬な魚」を求めて出航する「太公望」ぶりをみせる。遊漁船に乗っていた頃は船酔いをしたという奥様も、自艇で出航するようになってからはそれも克服。今では旦那さんよりも熱心な釣好きであり、ほとんどの土日はここで過ごし、釣った獲物もきっちり調理して食べるのも楽しいのだという。愛

艇の「Santa Go(3人の息子さんの共通する文字「太=た)」をモチーフにした名前」はご夫妻の最初の艇であるが、自艇を持った方がコスト的にも安いとのアドバイスをマリーナより受けての購入だったという。釣りをしている際の安定性が高いのがポイントと語り、かなりのお気に入りなのだとか。ボートの幹旋はもちろん、購入後の整備や洗浄などの管理体制も満足とのこと。中でも最新の釣果情報をHPにアップしてくれていることも非常に嬉しいサービスだと語ってくれた。冬でも出航できる時は海に出て、獲物をゲットしてくる佐坂さんご夫妻は、年間60回も出航しているという熱心なマリントピアサポーターなのである。



河内憲治さん
大阪府で自営業を営む。古くからボートに親しみ、免許歴は29年のベテラン。その目的は釣りがほとんどで、現在の愛艇は三菱MS36(艇名は大河)で、大きい方が荒波でも楽だとお気に入りの様子。その他にもゴルフやラジコンなど多趣味を極める。(写真右)

前述のお二方と同様に、河内さんもマリントピアリゾートの住人であり、1993年のマンション購入と同時に愛艇を移住。「旬の魚を釣れる釣り方で」釣り、宮津湾でのマリライフを謳歌している。この池を選んだのは、以前よく利用していた釣りに「どこかいいとこない?」と聞いたところ、ここを勧められたのがきっかけ。大阪湾にもボートを置き、釣りに勤しんだこともあったが、魚はあまり釣れなく、さらに走ってもあまり面白くないとのこと。日本海側に決めたという。若狭湾は釣りの好ポイントが多く水もキレイだと印象を語り、またポイントが近くなった分燃料代も節約できると利点を挙げる。夏の暑い時期、そして

冬の寒い時期以外は月に2回位はこのマリーナを利用しているが、今年からマリーナスタッフに操船してもらおうなどのサービスも受けながら、獲物を追い求めている。最近では釣り好きの友人が「行こう行こうとうるさい(笑)」らしいのだが、その友人はマメな方らしく、獲物をさばいてくれたり色々やってくれるので、かなり楽をさせてもらっているとのこと。取材時も友人の豊島さんご夫妻をお越しいただいたが、こちらも釣りのお仲間、よく出航している様子だ。マリーナのサポート体制も万全であり、スタッフも親切にしてくれるとご満悦の河内さん。今後も身体の許す限りはこの海で釣りを楽しむとのことだ。



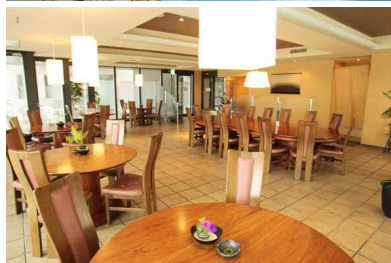
藤本真紀さん
大阪府在住で、職業は会社役員。釣りをメインにしつつ、マリンスポーツ全般に興味とする。愛艇のMAKI(日産サンキャット7.7)は所有して3年だが、臨時検査を受けて、限界水域まで単独航海に出るぐらいの好奇心をみせる。

持病の喘息とパニック症を治す目的で、3年前からこの地を訪れているという藤本さん。穏やかな海と周辺の雰囲気がかさねたのか、喘息もすっかり克服。海を介して多くの友人もでき、「前世でここに住んでいた」と思えるほど、この地でのマリライフが「しっくりくる」といいます。天気が良くて、波の状態が良い週末であれば「漁協の組合員になれるぐらい」頻りに海に出る生活を送る藤本さん。知り合いの漁師の船に乗せてもらう機会も多いというが、現在の愛艇はたまたまタイミング良く巡りあえて購入したとのこと。リゾートマンションのオーナーではないが、会社の関係者がオーナーで、船は藤本さんが提供し、宿泊地

はそのマンションを使わせてもらいつつ、仲間同士でワイワイとリゾートを満喫しているとのことだ。愛艇は、自身にとって初めての船というが、購入にあたってはマリーナスタッフが親身になってくれたのが助かったという。オリジナルの機装も多数施し、搭載しているホンダエンジンがお気に入りとのこと。運転するのも大好きなのだという。ロングクルージングに出かける際もアドバイスを受けて、航海中にメールで連絡をくれるなど、藤本さんの充実したマリライフには欠かせない存在なのだとか。これからもマリーナの好サポートを受けて、藤本さんのマリライフはさらに充実したものになっていくことであろう。



マリントピアマリーナ
マリーナ周辺オススメスポット



マリントピアリゾート
宮津湾の海寄りの地に点在するリゾートマンション&会員制リゾート。マリーナを介したマリトレジャーが1年中楽しめる、ゴルフやウィンタースポーツなども満喫できる好立地。施設には温泉や釣った魚をさばってくれるレストランやプールなどのレジャー施設も完備。現在9号館まで完成している。ほぼ空き待ち状態で、現在建設中の10号館で分譲受付中。

[TEL] 0772-27-1111
[URL] www.marinetopia.jp



天橋立
「松島」「宮島」と並び、日本三景の1つである「天橋立」。幅が約20～170m、全長3.6kmの砂浜で、大小約8000本の松が茂っている珍しい地形は、その形が天に舞う白い架け橋のように見えることからその名がついた。船舶航行の際に回転する廻旋橋も有名。
(社) 天橋立観光協会
[TEL] 0772-22-0670
[URL] www.amanohashidate.jp



冠島(大島・小島)
若狭湾の沖合い約10kmに浮かぶ無人島で、天然記念物「オオミズナギドリ」の繁殖地としても有名だ。保護的見地から許可なく上陸することはできないが、周辺海域はマダイ・イサキ・ヒラマサなどの漁場としても有名。



舟屋の里公園(道の駅)
伊根湾と舟屋を一望できる高台に建つ道の駅。公園内には活魚を調理するレストランや食事処、お土産屋などが並ぶ。
[TEL] 0772-32-0680
[定休日] 火曜日



伊根の舟屋
宮津湾の北東に位置する伊根湾。それを取り囲むように建ち並ぶ「舟屋」は全国でも類を見ない独特の風情を漂わせている。満潮時には舟屋全体が海に浮かんでいるようにも見え、静かでやさしい時間が流れている。
伊根町観光協会
[TEL] 0772-32-0277
[URL] www8.ocn.ne.jp/~inetour/

利用シミュレーション

大阪府在住のAさん
25ft艇を艇置利用(陸上保管)
年間12回出航

艇置区画利用料	264,600円
入会金	-
預託金	300,000円
揚陸料	8,085円×12回=97,020円 (年間の場合は199,500円)
初年度合計	661,620円
2年目以降料金	361,620円
燃料費(ハイオクガソリン使用時・概算)	200L×165円=33,000円×12回 396,000円

● アクセス(自動車利用の場合)

中国吹田IC～宮津天橋立IC
(中国道～舞鶴若狭道～京都縦貫道)
3,800円(片道)、7,600円(往復)×12回
91,200円

自動車燃料代(概算)
約7,000円(レギュラー使用時)×12回 84,000円

年間利用費(初年度概算) 1,232,820円

兵庫県在住のBさん
35ft艇を艇置利用(陸上保管)
年間12回出航

艇置区画利用料	462,000円
入会金	-
預託金	300,000円
揚陸料	15,435円×12回=185,220円 (年間の場合は378,000円)
初年度合計	947,220円
2年目以降料金	647,220円
燃料費(軽油使用時・概算)	200L×125円=25,000円×12回 300,000円

● アクセス(自動車利用の場合)

神戸西IC～宮津天橋立IC
(山陽道～中国道～舞鶴若狭道～京都縦貫道)
3,550円(片道)、7,100円(往復)×12回
85,200円

自動車燃料代(概算)
約5,500円(レギュラー使用時)×12回 66,000円

年間利用費(初年度概算) 1,938,420円



マリントピアマリーナ
京都府宮津市日置3784
[TEL] 0772-27-0700
[FAX] 0772-27-1830
[URL] www.d5.dion.ne.jp/shin44/
[営業時間] 1年中
[定休日] 火曜日(夏期は無休)
[営業時間] 8:00～18:30
[収容能力] 陸上150隻
[ビジー利用可否] 不可

マリントピアマリーナの精鋭スタッフたち。物腰穏やかで、オーナーからの信頼も厚い。マリライフを好サポートしてくれることウケアいなのだ!



利用料金

[陸上保管]年間料金例
17ft艇の場合

艇置区画利用料	154,350円
入会金	-
預託金	300,000円
揚陸料	94,500円/年
初年度合計	548,850円
2年目以降料金	248,850円

上記料金以降、ボートのサイズによって1ft刻みに料金設定あり(36ftまで)。36ft以上については別途設定となる。預託金は退会時返却。また、マリントピアオーナー会員については入会金、預託金は免除となる。また、洗艇料として17ft艇で3,150円/回。以降、サイズによって別途設定あり。ワックス掛けは1ft700円の設定。料金はいずれも消費税込みの料金となる。詳細は同ホームページをご参照ください。

マリントピア・マリクラブ入会費用

個人会員(1名記名式)	
入会金	1,500,000円
預託金	1,000,000円
年会費	200,000円
法人会員(3名記名式)	
入会金	3,000,000円
預託金	1,000,000円
年会費	300,000円

※マリントピアオーナー会員の契約期間は大会申し出があるまでの永久会員制(マリントピアマンションの所有者でなくなった場合は、一般会員資格となり、入会日より換算して10年以上経過している場合は会員資格を失う)。一般会員は入会日より10年間(契約期間中にマリントピアオーナーとなった場合は永久会員の資格を得ることができる)。利用料金は、消費した燃料を利用ごとに計量し、燃料代金のみ徴収。詳細は同ホームページをご参照ください。

